

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 ソーラー建築部会・講演会
「ソーラー建築のゼロ・エネルギー化を目指して」

開催趣旨：今日、ゼロ・エネルギー建築が現実のものになりつつある。一般建築をゼロ・エネルギー化するには、自然エネルギーの活用と大幅な省エネルギーが必要である。

延床面積に対して太陽光発電パネルを設置できる屋根面積が大きい住宅や学校建築など低層の建築では、ゼロ・エネルギーを達成しやすいが、オフィスビルなどの一般・中高層建築ではゼロ・エネ化は難しい。しかしながら、自然エネルギーを活用するソーラー建築では、一般建築でもゼロ・エネルギー化の可能性が高いと考えられる。

今回の講演会では、オフィスビルで太陽エネルギーを用いてほぼゼロ・エネルギーを達成している最新の事例や急速に発展しているアジアの事例、また、オフィスで最大限の省エネと快適性を両立させる空調制御システム等をご紹介いただく。ゼロ・エネルギーを達成するために考えられたことや、設計、施工、運用面での問題などについてお話しいただき、建築の設計者として、使用者として、また日本太陽エネルギー学会として、ゼロ・エネルギー建築はどうあるべきか、どう造るべきかについて考えたい。

講演プログラム（講演者敬称略、演題名・講演者・講演順変更になる場合があります）

日時：平成27年11月6日（金） 13:00～17:00

13:00～13:05	趣旨説明	ソーラー建築部会長／首都大学東京 須永 修通
13:05～13:40	NEXUS HAYAMA ～魅せる太陽熱集熱管を目指して	(株)日本設計 佐々木 真人
13:40～14:15	生長の家 “森の中のオフィス”	清水建設 (株) 本間 康雄
14:15～14:50	大林組・テクノステーションにおける ZEB への取組	(株)大林組 小野島 一
<休憩> 14:50～15:00		
15:00～15:35	アジアのソーラー建築開発	岐阜県立森林アカデミー 廣田 桂子
15:35～16:20	ビルの省エネ制御と快適性	重要生活機器連携セキュリティ協議会 荻野 司
16:20～17:00	討論とまとめ	工学院大学名誉教授 宇田川 光弘

会場：東京理科大学森戸記念館・第2フォーラム(JR 飯田橋駅徒歩6分/神楽坂・毘沙門天向側の福屋・鳥茶屋路地20m)

定員：70名 (先着順)

参加費：会員 5,000 円、非会員 10,000 円、学生 2,000 円(テキスト含む)

参加方法：参加申込書またはホームページ掲載の申込書にご記入のうえ、日本太陽エネルギー学会事務局まで

E-mail, FAX にてお送りください。参加費は出来るだけ事前振込をお願いいたします。

[振込口座：三菱東京UFJ銀行・新宿中央支店・普通・3227375 [イッパシヤダンホクシホクタイウエネキョーガクカイ]

お申し込み者への参加証等の送付はありません。当日会場までお越しください。

申込期限：平成27年11月2日(月)

問い合わせ先：日本太陽エネルギー学会 事務局 電話 03-3376-6015 FAX 03-3376-6720 E-mail: info@jses-solar.jp

.....参加申込書 [FAX 03-3376-6720 E-mail: info@jses-solar.jp]

「ソーラー建築のゼロ・エネルギー化を目指して」	
参加者(複数名記入可):	
勤務先/学校名:	
住所: 〒	
電話番号/FAX:	
E-mail アドレス:	
会員種別 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生会員	
請求書 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要(請求書宛名) 領収書は来場時にお渡します	